

みほとけ

〒339-0008 さいたま市岩槻区表慈恩寺990

T E L 048 - 794 - 1759

F A X 048 - 794 - 3388

E-mail jyougenji@hotmail.com



常源寺と檀信徒をつなぐ

お彼岸を迎えて

東京都心の連続猛暑日数、年間猛暑日数がいずれも過去最多となり、今年の夏も記録的な暑さとなりました。「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉がありますが、もうしばらく真夏のような暑さが続きそうです。

まもなく迎えるお彼岸は、御先祖様への感謝の気持ちを新たにして、真心をもって供養をする祖霊供養の期間と考えられていますが、同時に、自らの生活を見直す大切な修行期間でもあります。

仏教で言う彼岸とは、悟りの世界を表します。私たち人間が暮らしている苦しみや迷いの世界を此岸と言い、そこから迷いや苦しみを離れた彼岸へ行けるように努力する仏道修行の期間がお彼岸なのです。苦しみから離れる努力として、仏教をお開きになったお釈迦様は次の6つの方法をお示しくされました。

- 布施（ふせ）……………見返りを求めず、他人に対して常に親切な行いを心がけること
- 持戒（じかい）……………悪い習慣を断って良い行いを習慣化し、ルールを守ること
- 忍辱（にんにく）………不平不満を言わず、嫌なことや辛いことにもじっと耐え忍ぶこと
- 精進（しょうじん）…目標が達成できるよう努力を惜しまずに続けること
- 禅定（ぜんじょう）…心と体を落ち着け、物事に動じないこと
- 智慧（ちえ）……………物事を様々な角度から見て正しく判断すること

お彼岸の期間は、御先祖様への供養だけにとどまらず、仏教への信仰をもつ者として、お釈迦様の教えにかなった行いを心がけることも忘れてはなりません。そうすることが仏様のお弟子となられた御先祖様に大きな喜びをもたらすことになるでしょうし、仏様の教えに導かれていく私たちにとっても心の安らかさを得ることにつながるのです。



■ 暮らしの中の仏教用語

接待（せったい）

仏教では「せったい」または、「しょうたい」と読み、一種の施しを意味します。本来は布施の方法の一つで、各地を行脚する修行僧に門前で湯茶を供養することを指していました。この風習が一般化し、道や家の前に湯茶を出して置き、そこを通行する旅人に飲んでもらうことを接待とか門茶と呼びました。現在でも、四国の遍路街道ではさかんに行われており、甘茶やぼた餅のような食事まで準備していることもあるようです。

◇ 仏教なんでもQ&A ◇

Q 葬儀や法事を行ってはいけない日はありますか？

A 「日々是好日」という禅語が示すように、曹洞宗の教えの中では、一日一日を佳き日ととらえ、一日一日を大切に生きていくように説いています。この教えからすれば、葬儀や法事を行ってはいけない日はありません。しかし、社会全般では、葬儀に際して「友引」の日は避けるという習慣が一般化されていますし、実際には火葬場が友引をお休みとしているため、物理的に友引の日に葬儀を行うことができません。

カレンダーの中には「大安」「仏滅」や「三隣亡」などの吉凶を示すものが記載されていますが、曹洞宗では、こうしたものが暦上の占いであり、迷信であると考えます。御法事については、こうした暦を気にすることなく行っていただいで構いません。

秋のお彼岸法要

お彼岸は、春分および秋分の日を中日として、前後の3日ずつを合わせた各7日間をいいます。今年の秋のお彼岸は、9月20日から26日までです。ぜひ、この期間に御仏壇に茶菓やお花をお供えて御家族でお参りをしましょう。また、御都合の良い日にお墓へもお参りください。当山では、下記のとおり秋季彼岸法要を厳修いたします。皆様の御参列をお待ちしております。

日時 令和7年9月21日（日）午前10時より ※秋分の日ではありません。ご注意ください。
場所 常源寺本堂

- ◎事前のお申込みや御予約は必要ありません。
- ◎御布施や御志等は不要です。暑さが予想されますので、平服でお越しください。
- ◎御法要は20分程度で終了する予定です。お墓参りに併せての御参列も可能です。

お彼岸の御塔婆供養を受け付けます

御供養料 六尺塔婆／一霊・五千円 五尺塔婆／一霊・三千円
申込方法 電話、FAX、Eメールのいずれかにてお申込みください。
直接御来山いただいても結構です。
申込期限 令和7年9月17日（水）まで

- ◎彼岸法要に御参列いただけない場合、御塔婆のみのお申込みも可能です。その際は、お申込みの際に、御塔婆をお受け取りになりたい希望日をお伝えください。
- ◎遠方の方、御都合が合わずお墓参りができない方は、お寺で代わりに御塔婆をお建ていたします。御希望の方は、事前に御相談ください。

大施食会を厳修しました

8月17日（日）、毎年恒例の盂蘭盆大施食会を厳修いたしました。今年も近隣の御寺院の御住職様方にも御参列をいただき、盛大かつ厳かに執り行うことができました。

当日は、日中の気温が36度を超える酷暑の中でしたが、日曜日の開催ということもあり、例年以上に多くの方々に御参列をいただきました。また、今年も、戦後80年の節目の年ということもあり、大施食会の中で、戦争で犠牲になられた多くの方々への供養を捧げるとともに、世界の恒久平和を御祈念いたしました。



小学生 坐禅体験

7月19日（土）、さいたま市立徳力小学校の児童11名が、御本堂で坐禅体験を行いました。また、木魚などの仏具に直接触れ、御本堂内の見学を行いました。普段は体験することのできない貴重な時間を過ごすことができましたようです。



御本堂 手すり設置

この度、大施食会の開催に合わせて、御本堂正面の階段及び濡れ縁に高欄と手すりを設置いたしました。これまでは階段の昇り降りで御不便をおかけしておりましたが、手すりを設置したことによって、より御本堂へ参拝しやすくなりました。

